

定款に定める事業内容

- (1)作業療法の専門的知識および技能を通じて、北海道における医療および福祉の増進に寄与する事業
- (2)作業療法に関する最新の学問的成果および先進技能を普及させ、また奨励振興する事業
- (3)作業療法士の教育機関の教育育成に協力し、もって作業療法士の資質向上に寄与する事業
- (4)作業療法に関する会誌等刊行物の発行に関する事業
- (5)作業療法の学会、研修会、講習会等の開催に関する事業
- (6)作業療法の調査研究に関する事業
- (7)内外の関連学術団体と連絡し協力する事業
- (8)作業療法士の社会的地位の向上に関する事業
- (9)その他法人の目的を達成するために必要と認める事業

上記の事業内容を基に下記のお通り各部局が事業を行った。

令和四年度は、新々5ヵ年行動計画の3年目、従来からの目標である「人を育て遺してゆく」、「作業療法士不在地域ゼロ作戦」に加え、COVID-19への対策として、当会の事業も大きく舵を切り、大きな実績を取めた令和参年度を踏襲し、さらなる充実と満足につながる事業を計画した。

北海道は、多くの医療・介護そして教育等の施設が疲弊した第6波が収束する間もなく、新年度早々から、COVID-19のBA・2の侵入もあり、7月からは第7波への対策を余儀なくされ、11月からは過去最大の第8波への対応にて苦慮し、対面での活動が行えない状況が続いた。

一方、一昨年度からのwebを活用し研修・講習会の開催に大きな実績を遺し、新人研修・講習プログラムは教育部と関連する会員の努力により、昨年度に引き続き五大領域における各10回の研修・講習プログラムとして開催されることは誠に喜ばしいことである。

合わせて、第52回北海道作業療法学会がwebと現地参加のハイブリッド形式で開催され、一昨年度のweb開催の引き続き、今後の学会の在り方における試金石となることは、喜ばしいことであった。

総じて、少しずつ慣れ始めたCOVID-19対策のなか、士会活動を立て直すとともに、新5ヵ年行動計画を見つめなおし、新々5ヵ年行動計画として新しい作業療法士会の在り方を検討できた一年であった。会員諸氏の理解と協力に心より感謝申し上げる。

【事務局】

[総務部]

1.会議運営

・定期総会：2022年6月11日

・定例理事会：年3回

第1回 4月23日、第2回 10月22日、第3回 3月18日

・臨時理事会：年1回

第1回 1月28日、第2回 9月25日

・常任理事会：年1回開催

第1回 7月29日、第2回 12月12日

・三役会：年4回開催

第1回 4月23日、第2回 10月22日、第3回 1月28日、第4回 3月18日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

・士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電26件：養成校入学式・卒業式 各12件、他2件、弔電4件

[財務部]

1. 2022年度予算執行の管理

2. 2022年度中間決算

3. 2022年度収支決算書の作成

4. 2023年度予算案の作成

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 日本作業療法士協会・47都道府県委員会との連携

3. 多職種連携情報交換会の企画 2023年2月24日（金）「各協会の現状 コロナ禍3年経過して」をテーマにZOOMにて開催。(OT・CM・MSW 33名参加)

【学術部】

[編集委員会]

1. 2022年度[作業療法の実践と科学]の企画・編集・発行

1) 電子版発刊：5月末日、8月末日、11月末日、2月末日

2) 冊子版：2022年2月に発刊、3月発送

2. 投稿論文促進の取組み継続

1) 第52回学会優秀演題発表者、論文化推奨者へ投稿促進のお手紙を送付

2) ニュース(毎号)に、投稿論文募集の案内、PSOT掲載論文のタイトル等の掲載

3) Twitterに発刊のおしらせ、投稿募集を掲載

3. 優秀論文賞の選考審査

1) 2021年最優秀論文賞の表彰（賞状、副賞授与）

2) 2022 年最優秀論文賞選考・決定

[学術課]

1. 学術研究助成金について

- 1) 2023 年度学術研究助成金の募集・選考審査：応募 2 件

【教育部】

研修会の開催や北海道作業療法士会認定会員研修施設を整備し、会員が研鑽できるようにした

[養成教育課]

1) 研修

- ・ ZOOM によるオンライン研修会として実施した
- ・ 研修回数は合計 75 回であった
- ・ 参加者は 1～3 年目の参加者が多い
- ・ 認知症アップデート研修会と重点課題認知症講習会は、認知症施策推進課に協力を頂きながら実施した
- ・ 現職者選択研修事例報告は、SIG や施設での報告数が増えている
- ・ 研修会の分類と回数

① 北海道作業療法士会研修会	1 回
② 新人研修会(中枢・運動器・精神・高齢期・発達)	各分野 10 回
③ 現職者共通研修会	9 回
④ 現職者選択研修会	3 回
⑤ MTDLP 基礎研修会	2 回
⑥ MTDLP 事例検討会	5 回
⑦ MTDLP 書き方研修会	1 回
⑧ 重点課題研修	2 回
⑨ 実習指導者講習会	2 回

2) その他

- ・ ホームページの更新
- ・ 道士会ニュース記事記載
- ・ Twitter の発信
- ・ スマレジの管理
- ・ 事例登録の手続き管理
- ・ 生涯教育基礎ポイントの管理
- ・ SIG 登録の手続き管理

[生涯教育課]

- ・ 北海道作業療法士会認定会員研修施設一覧の管理

【調査部】

1. 職域アンケート実施しムードル内で共有
2. Twitter、ホームページの解析は継続しムードル内で共有
3. 講習会決済の解析継続しムードル内で共有
4. 学会関連アンケート 1 回、災害アンケート 1 回、部局調査 1 回、モバイルルーターアンケート 1 回実施

【広報部】

1. 会員外向け情報発信、他部局との協業
 - 1) 作業療法士志望者へ UTURU15 号を編集発行
 - 2) 小・中学生向けの啓発方法の検討、情報収集を継続
 - 3) OT マンガの使用拡大の継続検討
 - 4) 既存媒体の管理、補充（リーフレットは他団体関連事業等で使用、ノベルティグッズは啓発事業での使用少なく補充なし）、新グッズの継続検討
2. 会員向け情報発信、支部広報部との協業
 - 1) 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行、web データのホームページ掲載
 - 2) ニュース Web 化への取り組み継続検討
 - 2) 支部広報部との Web 全体会議にて各支部広報活動および支部メールの運用情報を共有、ホームページ（支部ページ）の活用方法を検討。道士会ニュースでは共同企画を継続
3. 会員内・外向け共通の情報発信と他部局との連携
 - 1) 道士会公式 SNS（Twitter）では、投稿管理、活用広報（登録促進動画含む）、発信促進、調査部とのホームページ流入解析を実施
 - 2) ホームページでは、一般向けを重視したりリニューアル、掲載および更新作業を実施
 - 3) 感染等で既存媒体の活用機会は少なかったが、流入解析用パラメーターは継続し効果的運用を継続検討
 - 4) 刊行物に使用するデータの収集と更新（UTURU インタビューページ、ニュース掲載賛助会員 PR 広告、養成校情報一覧）
4. 道士会事業（主に画像）データの保存管理、提供
5. 広報関連ガイドラインの管理、運用

【事業部】

新 5 カ年計画を鑑みて、次年度事業計画を立て、一般市民に向けた公益的活動、OT 志望者を増大のための啓発活動を継続した。また、他職能団体への「生活行為」を通して作業療法啓発を継続し、研修会を開催した。

1. 公益的活動:

- 1) いきいき健康福祉フェア 2022 10/14～10/16 ポスター展示、講演にて参画

2) 北海道医療技術者団体連絡会議主催（医技連）のパネル展は中止

2.啓発活動

1) 昨年度同様、COVID19の影響により OT 見学可能施設見学受け入れ一覧作成・配布は見送った。代替として配布可能な啓発動画作成に着手した

2) 一般市民向け作業療法啓発リーフレット草案を作成し地域部、支部連と協業を開始

3) 「作業療法の日」啓発のためノベルティ（クリアファイル）を作成し新規会員に配布予定

3.研修事業（作業療法啓発・アドバンス研修）

1) 生活行為啓発関連研修 令和4年11月24日（木）実施

4. 支部連携強化：連携強化及び課題共有に向けて支部事業部長と支部事業部間会議開催（年2回）3月13日実施。感染対策でイベント実施が困難な中、各支部でのHPやリモート環境を活用した啓発活動を確認した

5. 追加事業：OT 啓発イベントに利用可能なアプリ開発を行った

【制度対策部】

1. 令和4年度診療報酬改定情報の提供：令和4年3月診療報酬改定研修会以降の情報を、令和4年7月道士会ニュース内で提供

2. 診療報酬相談・福利相談への対応：診療報酬相談・福利相談ともなし

3. 会員特典無料開放研修会（診療報酬や制度、トピックスに関連した）の開催、情報提供

1) メンタルヘルスに関する研修会の実施

令和5年2月3日（金）オンライン開催「医療専門職におけるメンタルヘルス～セルフケアから復職支援まで」会員71名受講

2) 起業に関する研修会の実施：令和5年3月3日（金）オンライン開催「作業療法士の起業、その後の会社運営について」会員43名受講

4. 新人ガイダンス実施：令和4年4月16日（土）にオンラインにて実施、新人作業療法士55名が参加。新人歓迎会も実施、レクリエーションや支部ごとの顔合わせで交流を行う

5. 学生向け入会リーフレット・フライヤーの管理、作成と配布：地域で働くことに関するフライヤーを令和4年11月、入会リーフレットを令和5年1月に配布

6. 学生へ道士会ニュース配布（2号）：令和4年9月号（みらいカフェ掲載号）、11月号（会員メリット掲載号）配布

7. みらいカフェ開催：道士会ニュース令和4年9月号において「男性セラピストならではの育児に関するエピソード」を対談形式で開催

8. 団体傷害保険の管理、運営：Chubb 損害保険株式会社による団体総合補償制度費用保険（WIZ）にて1,300名で契約更新。近年の自然災害等の頻発を受け、天災が保障されるプランに変更

9. 養成校・養成校連絡協議会との連携：学生への組織強化に関する印刷物やノベルティの配布、アンケート実施にご協力を頂く

【地域部】

[企画運営課]

1. 「地域支援事業に資する人材育成研修会」の企画運営
 - 1) 地域支援事業に資する人材育成研修（ベーシック）：令和4年8月21日実施 参加者4名
 - 2) 地域ケア会議における認知症を持つ方と自動車運転の助言ポイントと事例検討：令和4年10月25日実施 参加者8名
 - 3) 北海道作業療法士会と北海道歯科衛生士会との共同研修会： 令和5年1月28日実施 参加者 OT 13名 歯科衛生士 8名
2. 認定市町村アドバイザー養成と登録推進：延べ登録者数17名
3. 地域ケア会議同行研修事業：令和4年6月17日訓子府町地域ケア会議調査（3か所目）、令和5年1月18日 石狩地域ケア会議にて1名同行研修実施
4. OJT 研修会修了者の情報管理
5. 「地域支援事業に資する人材育成研修会」受講者の情報管理
6. 士会認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理
7. 道士会ニュースへの寄稿：9月号、3月号

[地域推進課]

1. 士会受託市町村事業および士会受託地域ケア会議の把握(地域作業療法推進に関する企画書・報告書の管理)
2. OJT 研修会修了者の情報管理
3. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」受講者の情報管理及びその活用
4. 認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理・活用
5. 地域作業療法推進のための普及活動
 - 1) 道士会ニュースへの寄稿にて11月号3月号
 - 2) 道士会ホームページに「地区長名簿」「市町村担当者名簿」「市町村アドバイザー認定者名簿」のバナーを設置
6. 「地域包括ケアシステムにおける作業療法の推進に向けて実践者の調査事業」を年2回、会員向けに実施
7. その他、地域作業療法推進に関連する事業の情報管理

[認知症施策推進課]

1. 広報事業
 - 1) 実践事例集の発刊：Ver1.0 増刷 3,400（5月）、Ver1.1 発刊 4,000部（令和4年12月）、Ver2.0 発刊 4,000部発注（令和5年3月）
 - 2) 道士会ニュースへの寄稿：7月号、1月号
 - 3) 講師派遣：1件（札幌市）
2. 人材育成事業

- 1) 認知症研修会①：2022 年 11 月 12 日（土）13:00～16:35
- 2) 認知症研修会②：2022 年 12 月 10 日（土）13:00～16:35
3. 調査事業・渉外事業：感染予防のため中止

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

5. 2022 年度 第 12 回定期総会開催・運営
6. 2023 年度 第 13 回定期総会開催準備

[学会評議委員会]

1. 2022 年度 第 52 回学術大会（現地+Web ハイブリッド開催）の支援
2. 2023 年度 第 53 回学術大会（現地+Web ハイブリッド開催）の支援
3. 2024 年度 第 54 回学術大会の大会長候補の選出
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 2022 年度 第 52 回学術大会の参加者の動向調査（学会実行員会）

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営：札幌病院さまの協力が得られている。引き続き他施設への協力打診を行う
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営：江別市、北海道大学、札幌医科大学、文教大学のスタッフで運営中。より専門的な運営ができるよう別の委員会の設立に向けて運営中
3. 新 5 カ年計画への対応：担当部局等の変更・調整を実施
 - 1) 障害者総合支援法及び発達領域の関係法令（児童福祉法及び教育法）への提言
 - 2) 特別支援教育等への作業療法士の参画推進：ワーキンググループの設立に向けて適任者の選出を実施。また、専門的な運営ができるよう別の委員会の設立に向けて運営中。
4. 理事会で決議された議案への対応：今年度は未実施
5. 遠隔研修（オンラインおよびオンデマンド研修）の実施準備：今年度は未実施

[規約検討委員会]

1. 既存の規約・規程の修正・改訂
2. 定款とその他規程のすり合わせ
3. 新たに必要な規約の調査
4. 会議費規程の作成
5. 災害支援規程の作成

【特設委員会】

[災害対策委員会]

1. 災害訓練の実施

9月25日日本作業療法士協会主催の災害訓練を実施：回答数 680、回答率 20%（総会員数：3288名）

2. 第52回道学会にてワークショップ開催：6月11日 十勝プラザ

3. DO-RAT：北海道災害リハビリテーション推進協議会への参加：会議への参加および講習会の開催

4. DWAT：北海道災害福祉支援ネットワーク会議への参加

5. 第53回道作業療法学会学術大会 SIG にてワークショップ開催準備

[白書委員会]

1. 委員の選定

2. アンケート内容の検討

3. アンケートの実施方法の検討（Web フォームサービス formrun による回答・集計方法の導入）

4. アンケートの実施に向けた広報活動

5. アンケートの実施（令和5年3月実施）

【支部連絡協議会】

1. 地域部と共同開催の支部連懇談会にて支部連絡協議会の開催を包含

2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整

3. 理事会と各支部の連絡調整

4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整

5. 各部局が立案した事業の把握および連携

6. 地域作業療法推進事業の把握および調整

7. 地域部との連携

8. 次世代の担い手事業における講師バンク、依頼の調整、実績・資料等の蓄積

[札幌支部]

1. 会員情報の集約（名簿の更新、個人アドレス登録）、支部財務管理

2. 支部内会議（3回）、ブロック連絡会議・研修会・交流会の開催

3. 札幌支部施設間連絡会は交流を考えた支部研修会に変更し開催

4. 広報誌の発行（年2回）

5. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会、現職者選択研修の運営

6. OT 啓発活動・いきいき福祉フェア実施、ミニさっぽろ・医団協パネル展・出張講座への講師派遣 実施なし

7. 外部関係機関への会員派遣
8. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、札幌市介護予防自立支援事業への参画

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会、支部3役会議（秋）、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行3回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回
5. 地域包括との意見交換会
6. 石狩支部内講習会の企画運営1回
7. 石狩地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への会員派遣
8. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センター、市町村担当との連携（石狩支部ニュースの送付）、地域ケア会議への参加

[空知支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリストの作成管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行1回、役員用掲示板・連絡ツールの管理
4. 現職者共通研修の運営協力
5. 外部関係機関への会員派遣
6. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、市町村の実態把握、各市町村との連携、各市町村地域ケア会議参加

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会は開催、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行1回
4. 道士会主催支部企画講習会企画運営1回 webにて開催、現職者共通研修会の運営協力
5. いきいき健康祭りは介護予防教室として実施、歯科衛生士会主催の講演会に講師として参加
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、HARP 関連説明会と併せて、地域関連職種と情報交換会実施
8. 広域に渉る会員との連携の模索：情報伝達方法のメーリングリストを個人登録へ移行、それに伴うインフォメーション、遠隔地域の役員選出等継続審議

[日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部内会議の開催
3. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力
4. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
5. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会 2 回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回
4. 道士会主催研修会の運営
5. OT の日啓発事業の企画運営、TSUTAYA イベントへの参加（高校パンフレット配布）
6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
7. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
8. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）、函館市介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）
9. 新人ガイダンス、道南支部事業説明実施

[道北支部]

1. 会員情報の集約（名簿作成、会員及び各部用 ML の作成・管理）、支部財務管理
2. 支部報告会・支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 6 回、新人歓迎会・懇親会の開催（web 開催も含む）
4. 道士会主催新人研修（運動器）の運営
5. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、旭川市地域リハビリテーション活動支援事業への参画（HARP へ依頼）

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック会議の開催
3. 広報誌 2 回発行、新人歓迎会を zoom にて開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、道士会主催新人研修会の運営 10 回
5. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業への参画：地域ケア会議参加 帯広市介護予防事業への OT 派遣、部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営
5. 外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力

[網走支部]

1. 会員情報の集約（支部内の会員名簿の調査・管理）、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌の発行2回、新人・支部交流会の開催
4. 道士会主催現職者講習会の運営2回
5. 支部事業部主催研修会の開催、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催
6. 外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議への参加、介護予防事業へのOT派遣